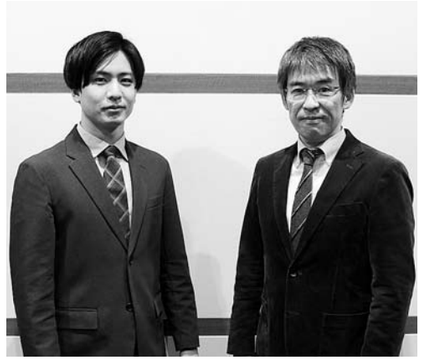
新ビジネス創出

NTT東日本グループ会社のソリューション群 ⑱

NTT Risk Managerのリスク対策コンサルティング

NTT Risk ManagerはNTT東日本グループ企業として、NTT東日本グループ、さらにNTTグループの情報セキュリティレベル向上に貢献している。一般企業向けには同社が提供する事故対応演習が好評で、各方面から引き合いが来ている。

NTT Risk Managerは、NTT東日本グループ企業で、2022年7月の設立以来、情報セキュリティ分野を中心としたリスク対策のコンサルティングやソリューション、補償までをワンストップで提供している。



久保氏㊨と原嶋氏

同社企画総務部の久保英夫担当部長は「現状当社は地域企業や自治体、コミュニティの皆様への情報セキュリティ対策を多角的な視点からサポートしている。加えてNTT東日本グループ企業、さらにはNTTグループ全体の情報セキュリティレベルを更に高めるためのサポートに注力している」と話す。

リスク対策を一気通貫でカバー

近年は、特定の企業・コミュニティを狙った標的型攻撃メールやサプライチェーンに影響を与えるサイバー攻撃が大きな社会問題になっている。

NTTグループの情報セキュリティを下支え

企業・コミュニティは情報セキュリティ対策強化に意識を向けているが、「どんな対策を打てばいいのかわからない」「どこに問題点があるのかわからない」といった悩みを抱える企業・コミュニティも少なくない。

同社は、こうした悩みに対して適切なサポートを展開。例えば、どんな対策を打てばいいのかわからない企業・コミュニティには、まず社内環境を把握したうえで、対策プランを検討する。実際の対策を講じるためのツール提供や、研修を通じた人材育成、さらに継続的な改善を促す監査も行う。万が一、事故が発生したときの補償として、サイバー保険も提案する。

同社企画総務部の原嶋一貴氏は「当社の特長は、情報セキュリティ対策を一気通貫でカバーできる点にある。こうした企業はほかになく、当社の強みと考えている」と述べる。

情報セキュリティ対策は「人的対策」「技術的対策」「物理的対策」の三つに分けられるが、同社はとくに人的対策に照準を当てている。

「情報セキュリティのリスクは企業・コミュニティによって区々だ。ルールづくりが先決の場合もあれば、メール訓練が先決の場合もある。まずはお客さまの状況をお聞きし、それを踏まえて具体的な対策を優先順位をつけてご提案している。その中で人的セキュリティ対策については当社サービスをご提供し、技術的対策などが必要なお客さまについてはNTT東日本、NTT西日本などと連携しながら対応している（久保氏）。

ゲーム形式の事故対応演習が好評

現状、特に反響が大きいのは人材育成の領域だ。従業員の情報セキュリティリテラシー向上を課題視する企業・コミュニティが増えており、情報セキュリティ研修のニーズが盛り上がっている。

ミュニティの内規に沿った内容や、実際にあった事例を組み込むなど、都度お客さまに応じて設計している。

同社は、従来からある座学・聴講形式とは一線を画した研修スタイルを提案し好評を得ている。

「例えば動画を駆使した研修メニューを提供している。企業・コミュニティの内規に沿った内容や、実際にあった事例を組み込むなど、都度お客さまに応じて設計している。また事故対応演習はカードゲーム形式で参加者が能動的に参加し、楽しく学べるようにしている。レクリエーション効果もあり、社員・職員間の交流や結束が生まれるなどお客さまから評価の声をいただいている」と原嶋氏は説明する。事故対応演習はNTTグループ企業の研修でも活用されている。

同社はNTTグループ各社の情報セキュリティ規程改定の支援なども行っている。

久保氏は「こうした取り組みを通じてNTTグループにおける情報セキュリティ分野の要のような存在になっていければと考えている」と述べる。

NTT西日本やNTTコミュニケーションズ（NTTコム）と連携した事業も展開されている。

NTT西日本とは情報セキュリティコンサルティングなどを西日本エリアで推進。NTTコムとは自動車業界など業界特化型の施策を進めている。

国内最大級のセキュリティ専門イベント「セキュリティデイズ（SecurityDays）Spring2024」が開催される。3月14日（木）10：40～、東京・JPタワーホール&カンファレンス（KITTE4F）で開催される基調講演にNTT Risk Managerの白石涼子副社長が登壇する。講演タイトルは「情報事故抑止に必須の『リテラシー』と『備え』にお悩みの皆様へ～研修とサイバー保険のご説明～」。

白石副社長がセキュリティデイズで講演

3月14日（木）10：40～
JPタワーホール&カンファレンス